

## まちづくり市民会議 第2小委員会議事録⑥

---

■日 時 2008年2月12日(火) 午後6時30分～午後8時30分

---

■場 所 太田市役所 10階 政策推進会議室

---

■出席者 委員7名 西村委員長、森尻副委員長、内田、神谷、栗原、後藤、  
福島  
市2名 奥川、正田  
※欠席委員 荒井

---

### 【概要】

#### 1. 会議の目的

- ・これまでの小委員会や定例会をとおして討議された、まちづくりに関する現状や各委員の考えを基に、次回からの太田市のあるべき姿の検討のため、テーマを絞り込む。

#### 2. 会議の内容

##### (1) 資料説明

- ・事務局が、太田市の『環境白書』の太陽光発電システムについて説明した。
- ・西村委員長が『群馬県マイバックキャンペーン結果』『ごみ処理の概要』について説明した。

##### (2) 意見交換

###### ●地産地消・食育について

- ・学校給食に、地産地消を積極的に導入すべきである。
- ・地産地消は、コスト問題を解決する必要がある。
- ・人口減少時代に事業を推進するには、受益者負担か税の投入が考えられる。学校給食に対する親の意識改革や理解、または市民の理解が得られなければならない。
- ・農業形態や農産物の流通形態を変えていかなければ問題は解決できない。
- ・地産地消と食育の推進は、生産者から流通、さらに消費者までの、しっかりとした系統だった組織が必要である。
- ・「朝ご飯を必ず食べる」「はしの持ち方」など、簡単なことから食の基本を教える必要がある。
- ・市内でどんな農産物が作られているのか、マップに載せるのもよい。

###### ●マイバックの利用について

- ・群馬県でキャンペーンを行っているが、PRが足りない。また、現在、期間を限定して実施しているが年間をとおして実施した方が意識が高まる。
- ・マイバックキャンペーン結果についても、区長会をとおして回覧板で周知するなど、市民全体に知れ渡ることが意識改革には必要である。
- ・県と市で行う事業の融和が図られていない。

- ・身近なできることから始めれば、環境を守るための第一歩が踏み出せる。

### (3) 第2小委員会としてのテーマについて

- ・次の3つのテーマを柱として、次回よりテーマごとに深く掘り下げ検討していく。  
各委員が考えを出し合い、あるべき姿をまとめていく。

①地産地消と食育 3月11日(火)

②伝統文化と健康 4月15日(火)

③環境問題 5月13日(火)

- ・6月10日(火)の小委員会は、予備日とする。

### 3. その他

- ・各委員は、意見用紙を利用し 2月29日(金)までに事務局へ提出する。

#### [次回会議のお知らせ]

第7回 第2小委員会

【日時】 3月11日(火) 午後6時30分から

【場所】 太田市役所 10階 政策推進会議室